

八代妙皇祭保存振興会

やっしるみちのけんさいしほそんじょんじょから



概要

設立年月日 平成6年5月

代表者 濱 大八郎（はま だいはちろう）

構成 27団体 個人(155名)

住所 八代市松江城町 4-29

主な活動地 八代市

地域文化活動部門

八代妙見祭保存振興会は、九州三大祭りの一つといわれ、約三百七十年の伝統ある県指定重要無形民俗文化財である「八代妙見祭」の実施団体として、神幸行列の実施等を通じて、祭り文化の保存継承と地域活性化に取り組みられています。

かつての町衆の力により発展してきた妙見祭が、八代市民主体の祭りとなるよう平成六年に発足。企業や市民に参加を呼びかけ、妙見祭に関する文化講演会や出前講座、子ども達の興味や理解を深める出し物体験教室、参加者及び市民ボランティアを対象とした祭礼衣装着付け講座や妙見祭ガイド育成講座等を実施し、市民の認知度の向上とともに、神幸行列の参加者増と後継者育成などで、市民参加による伝統文化の保存継承に積極的に取り組みられています。

これらの取組みにより、市民主体の祭りとして、年々盛り上がりを見せており、「八代妙見祭」の普及発展、保存継承と、祭り文化を通じた八代地域の活性化に大きく貢献しています。

これまでの活動歴

平成六年	「八代妙見祭実行委員会」発足
平成八年	初の御夜（前夜祭）開催
平成十八年	妙見祭ボランティアガイド養成講座開始
平成十九年	九州三大祭シンポジウム開催 祭礼衣装着付け講座 子ども出し物体験教室開始
平成二十年	「八代妙見祭振興会」に名称変更 八代神社祭礼絵巻公開 御夜に長崎龍踊り招聘
平成二十一年	御夜に中国北海市及び沖縄勢理客市の獅子舞招聘
平成二十二年	ハートフルソーン（車椅子観覧席）設置 ちびっこ妙見祭開催 「八代妙見祭保存振興会」に名称変更